

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【公表番号】特表2010-528562(P2010-528562A)

【公表日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2010-510291(P2010-510291)

【国際特許分類】

H 04 N 7/173 (2011.01)

【F I】

H 04 N 7/173 6 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月4日(2012.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

メディアネットワーク内の第1のユーザ機器装置および第2のユーザ機器装置の少なくとも一方によって実行される録画関連動作に基づいて、双方向メディアガイダンスアプリケーションを個人化するための方法であって、

番組を録画することに関連する第1の動作を示す情報を該第1のユーザ機器装置から受信することと、

番組を録画することに関連する第2の動作を示す情報を該第2のユーザ機器装置から受信することと、

該第1および第2のユーザ機器装置からの該受信された情報に基づいてプロファイルを生成することと、

該生成されたプロファイルに基づいて、該第1および第2のユーザ機器装置上に実装される双方向メディアガイダンスアプリケーションを個人化することと

を含む、方法。

【請求項2】

前記第1および第2の動作は、前記番組の録画を命令すること、該番組の録画を予定に入れること、該番組を録画すること、および該番組の録画を削除することのうちの少なくとも1つを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記プロファイルは、ユーザの閲覧選好情報と、前記第1および第2のユーザ機器装置の装置構成情報とを含み、該装置構成情報は各ユーザ機器装置の状態を有し、該各ユーザ機器装置の状態は、各装置上の利用可能な記憶スペース、各装置の現在の状態、および、ユーザ動作の時間中の各装置の予測状態のうちの1つを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記プロファイルは、前記第1および第2のユーザ機器装置の少なくとも一方において発生した非録画動作の一覧を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記双方向メディアガイダンスアプリケーションを個人化することは、標的広告を表示することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記双方向メディアガイダンスアプリケーションを個人化することは、前記第1および第2のユーザ機器装置上で見られたことがない番組を推奨することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記第1および第2のユーザ機器装置の各々のタイプに基づいて、前記双方向メディアガイダンスアプリケーションを個人化することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記プロファイルは、前記第1のユーザ機器装置および前記第2のユーザ機器装置によって録画された番組の録画履歴を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

メディアネットワーク内の第1のユーザ機器装置および第2のユーザ機器装置のうちの少なくとも一方によって実行される録画関連動作に基づいて、双方向メディアガイダンスアプリケーションを個人化するためのメディアガイダンスシステムであって、

該メディアガイダンスシステムは、少なくとも部分的に回路上に実装される中央データ管理システムを備え、

該中央データ管理システムは、

番組を録画することに関連する第1の動作を示す情報を該第1のユーザ機器装置から受信することと、

番組を録画することに関連する第2の動作を示す情報を該第2のユーザ機器装置から受信することと、

該第1および第2のユーザ機器装置からの該受信された情報を基づいてプロファイルを生成することと、

該生成されたプロファイルに基づいて、該第1および第2のユーザ機器装置上に実装される双方向メディアガイダンスアプリケーションを個人化することと

を実行するように構成される、メディアガイダンスシステム。